

| | | | | | | | |
|-------|--|----|-----------------|-----|-----|----|----|
| 教科 | 英語 | 科目 | 英語コミュニケーション I α | 単位数 | 2単位 | 年次 | 1年 |
| 使用教科書 | Crossroads English Communication I (大修館書店) | | | | | | |
| 副教材等 | Listening essentials 1.5(啓隆社) 必携英単語Leap(数研出版) | | | | | | |

1 授業及び学習の方法等

| |
|---|
| <p>「読むこと」「書くこと」「聴くこと」「話すこと」という4技能の力を身につけることを目標とする。事前に教科書の英文を読み、内容把握とわからない語彙の確認をすることを予習とする。単語力をつけるために必携英単語Leapを常に携帯し、毎日繰り返し学習する。定期的に小テストを実施する。</p> <p>読んだ英文の題材を基に、自分の意見を英語で表現したりクラスメイトと意見交流を行う。リスニング教材やauthenticなリスニング教材を用いたリスニングを行うことで聴く力を養う。</p> |
|---|

2 学習の到達目標

| |
|---|
| <p>ある程度まとまった長文を読み、全体の要旨を把握し、大切なところは自分の言葉で説明ができるぐらい理解を深めている。</p> <p>身近な題材に関して説明したり、自分の意見をまとめた段落をもった英文で書くことができる。</p> <p>なじみのある題材に関して自分の意見を加えた発表をすることができる。</p> |
|---|

3 学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に取り組む態度 |
|-----------------------|---|---|--|
| 観 点 の 趣 旨 | 英語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解している。 | 教科書で扱う英文について関心を持ち、クラスメイトとの意見交換などを通して、内容についての知識を深めようとしている。 | コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行っている。 |
| 評 価 方 法 | <ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・小テスト ・提出物 | <ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・提出物 ・授業中の発表 | <ul style="list-style-type: none"> ・発表 ・小テスト ・提出物 |

※ 上に示す観点に基づいて、学習のまとめごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。

※ 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習活動

| 期 | 単元 | 内容(項目), 教材, 目標 | 主な評価規準 |
|----------|------------|--|---|
| 前期 中間 | Unit 1, 2 | 1. Unit 1 From Another Point of View 異文化理解 2. Is That True? メディアリテラシー | a: 新しい文化の中で生活するときの困難について、新しいメディアやコミュニケーションの方法について理解し、考えを深めることができる。 b: 新しい文化の中で生活する人を支える取り組みについて、新しいメディアが抱える危険性について調べ、意見を交換することができる。 c: プレゼンテーションやペアワークではクラスメートと協力し、積極的に活動をしている。 |
| 前期 期末 | Unit 3 ~ 5 | 3. Ocean Life 海洋環境 4. With a Little Help ボランティア・社会貢献 5. Living Longer and Better 健康・ライフスタイル | a: 世界の海が抱える問題について、他人を援助している人々について、長く健康に生きるための方法について理解し、考えを深めることができる。 b: 世界の海についての現状を調べ、海を守るためには何をすればよいのか、困っている人を援助するイベントや団体について、長く健康に生きるための要因についてを調べ、意見を交換することができる。 c: プレゼンテーションやペアワークではクラスメートと協力し、積極的に活動をしている。 |
| 後期 中間 | | 6. Beyond Borders 文化交流 7. At a Station in London 戦争・平和 SR1 Belgian Soccer Team | a: 異文化交流について理解し、難民と彼らを救った人々について理解し、考えを深めることができる。異なる言語を話す人々にとっての外国語の役割について理解することができる。 b: 文化が異なる人々をつなぐ活動について、危機に面した人々を救った行動について調べ、意見を交換することができる。 c: プレゼンテーションやペアワークではクラスメートと協力し、積極的に活動をしている。 |
| 後期 期末 | | SR2 The Mystery of the Lake SR3 Aretha Franklin: The Queen of Soul | a: 伝説の生き物の正体を探る化学調査の経緯について、アレサフランクリンの生涯と社会の動き等のかかわりについて、理解することができる。 b: ネス湖の恐竜について調べ、アレサフランクリンの生涯について、意見を交換することができる。 c: プレゼンテーションやペアワークではクラスメートと協力し、積極的に活動をしている。 |

※ 表中の観点について a: 知識・技能, b: 思考・判断・表現, c: 主体的に取り組む態度 である。

| | | | | | | | |
|-------|---|----|-----------------|-----|-----|----|----|
| 教科 | 英語 | 科目 | 英語コミュニケーション I β | 単位数 | 1単位 | 年次 | 1年 |
| 使用教科書 | Andrew. E. Bennett. Reading Fusion 1(南雲堂) | | | | | | |
| 副教材等 | なし | | | | | | |

1 授業及び学習の方法等

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・英語の四技能のうち、英語力の基礎となる「読むこと」、「書くこと」を鍛えながら、独学では身に着けにくい「話すこと」、「聞くこと」に慣れることを目標とする。 ・帰国子女で既に英語に慣れ親しんだ生徒から、高校1年生の段階で英語に苦手意識を持つ生徒まで、さまざまなレベルの生徒に対応するため、基本となる語彙や文法を確実におさえつつ、英語を手段として自由な発想を表現する活動を中心的に取り入れる。 ・前期と後期に1回ずつ、パフォーマンス課題として、生徒には教科書のレッスン内容を独自に深め、それを発表する課題を課す。 ・音読活動やモデル音声を通して聴解力を高めると同時に、音素やリンキングなどの学習を通して英語の音声上の特徴を把握し、将来的にナチュラルスピードの英語にも対応できるように訓練する。また、英語のパラグラフの性質を学び、まとまった量の、論理的で明快な文を書く練習を行う。 |
|--|

2 学習の到達目標

| |
|---|
| <p>①「読むこと」について まとまった量のある英文に対して、概略を理解することができると同時に、細部に注目して複雑な構文を理解したり、筆者の意図をくみ取ったりすることができる。</p> <p>②「書くこと」について ・英語のパラグラフの基本的な性質について知り、文章の効果的な配置を考えることができる。 ・身近なトピックについて、時間をかければ、説得力があり論理的な英文を書くことができる。</p> <p>③「話すこと」について ・身近なトピックについて、準備時間を与えられれば、それについての基本的な情報や、自分の意見を英語で述べるすることができる。</p> <p>④「聞くこと」について ・英語が話される際に起こる音声上の基本的な変化について、説明することができる。 ・身近なトピックについて、ゆっくりなスピードであれば、それについての内容を大まかに理解することができる。</p> |
|---|

3 学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に取り組む態度 |
|-----------------------|--|--|--|
| 観 点 の 趣 旨 | 言語としての英語の知識や、それを運用する際の、文法や音声上の規則などを身に付けている。 | 教科書の内容に関心を持ち、自分自身でもそのトピックについて調べ、他者が理解できるように伝えようとしている。 | 英語の特徴を理解しながら、異なる背景を持つ人とのコミュニケーションツールとして活用できている。 |
| 証 | <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト ・提出物 | <ul style="list-style-type: none"> ・自己評価シート ・他己評価シート ・提出物 | <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーション課題 ・振り返りシート ・提出物 |

| | | | |
|------|--|--|--|
| 評価方法 | | | |
|------|--|--|--|

※ 上に示す観点に基づいて、学習のまとめごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。

※ 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習活動

| 期 | 単元 | 内容(項目), 教材, 目標 | 主な評価規準 |
|------|--------------|---|---|
| 前期中間 | Lesson1～2 | <p>1. 音楽が脳に与える影響について、本文に記されている根拠を基にしながら、論理的に説明する。</p> <p>2. 日本のボディランゲージとは異なる世界のその例や、日本国内での所作の違いについて調べ、クラスで発表する。</p> <p>3. 世界で増加するゴミの問題について、現在行われている解決策に加えて、個々人が身近にできる心掛けについて考える。</p> | <p>a: 形容詞句、受動態、“not only … but also”の構文について理解している。</p> <p>b: 英文を理解する段階から、内容を解釈する段階に移行できている。</p> <p>c: 音楽、ボディランゲージ、プラスチックゴミ等の身近な話題から、自身の関心に沿ってさらに調べを進め、それを整理して話そうとしている。</p> |
| 前期期末 | Lesson 3～6 | <p>4. 火星への人類の移住と、その倫理的な課題について、根拠をもとに自身の考えを表現する。</p> <p>5. 新たなビジネスの形態であるクラウドソーシングについて理解し、そのメリット・デメリットについて整理する。</p> <p>6. アーバン・ランドマークと、その近くに住む人々のアイデンティティの関係について、身近な例を用いながら、説得的に説明する。</p> | <p>a: “such as Ving”、現在完了形、比較級について理解している。</p> <p>b: 自身の意見を他者に伝えるとき、抽象的に伝える場面と、具体例を用いて伝える場面を使い分けられている。</p> <p>c: 必ずしも身近ではないトピックについて、補助的な資料を用いながら、要点を捉えられている。</p> |
| 後期中間 | Lesson 7～9 | <p>7. 食品偽造や食品が引き起こす健康被害が絶えない中で、食品の安全をどのように保証するべきか、クラスで意見を交換する。</p> <p>8. 資産運用の効果的な方法について、倫理的な側面もあわせて考えをまとめる。</p> <p>9. そのほとんどが未知である深海世界で、どのような国が、どのような方法で探索を進めているのかを調べ、それらを発表する。</p> | <p>a: 逆説 (despite, in spite of)、主語と動詞の一致、前置詞句、並行構造について理解する。</p> <p>b: 英語に特有の表現や論理構造を意識しながら、説得的に自身の意見を表現することができる。</p> <p>c: 教科書のトピックに関連する資料を見つけ、適切な方法で引用し、発表にさらなる説得力を持たせることができる。</p> |
| 後期期末 | Lesson 10～12 | <p>10. もし自身が経営者だったとして、特定の商品の宣伝をどこに、どのような形で配置するのが効率的か考える。</p> <p>11. ホワイトカラーの労働者が引き起こす諸犯罪について、その事例と原因を考察する。</p> <p>12. 障がいを持つ人々が働きやすい環境にするために、どのような工夫や意識が必要か</p> | <p>a: 条件文における時制、過去完了形、短縮関係詞節について理解している。</p> <p>b: 英語が持つ表現方法の特質を理解しながら、論理的かつ分かりやすく自身の意見を相手に伝えると同時に、相手の意見の概要をつかみ、英語で話し合うことができる。</p> <p>c: 既得の知識を生かしながら、多少の間違いを恐</p> |

| | | |
|--|-----------------------|--------------------------------|
| | コ を考え、クラスで意見をまとめる。 | れずに、積極的に英語でコミュニケーションを取ることができる。 |
|--|-----------------------|--------------------------------|

※ 表中の観点について a:知識・技能, b:思考・判断・表現, c:主体的に取り組む態度 である。

| | | | | | | | |
|-------|--|----|-----------|-----|-----|----|----|
| 教科 | 英語 | 科目 | 論理・表現 I α | 単位数 | 1単位 | 年次 | 1年 |
| 使用教科書 | CROWN English Logic and Expression I (三省堂) | | | | | | |
| 副教材等 | なし | | | | | | |

1 授業及び学習の方法等

アシスタントイングリッシュティーチャー(AET)と日本人教員とのチームティーチングで授業を行う。教科書や音読練習ツールを活用し、英語で多様な考え方を主体的・能動的に学び、自分の考えを表現する活動(パフォーマンステスト)を実施する。英語の正確性や流暢さを向上させるために、英語を読み上げると、英語の音読量と発音の正確さ・流暢さを可視化できる英語学習ツールを日々の課題として取り入れる。

2 学習の到達目標

情報や考えなどを、場面や目的に応じて英語で書く能力をさらに伸ばすとともに、この能力を活用して主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。情報や考えなどの送り手や受け手になるように具体的な言語の使用場面を設定して、次のようなコミュニケーション活動を行う。

【聞くこと】

日常的な話題について、自然な速さで話された事物の紹介や対話を聞いて、概要や要点を捉えることができる。

【話すこと(やり取り)】

日常的な話題や社会的な話題について、スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通じて聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝えあうことができる。

【話すこと(発表)】

日常的な話題について、自分が伝えようとする情報や考えなどを明確にし、相手が理解しやすいように伝えたい内容を整理して論理的に話すことができる。

【書くこと】

日常的な話題や社会的な話題について、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができる。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に取り組む態度 |
|-----------------------|---|--|--|
| 観 点 の 趣 旨 | コミュニケーション活動を通して獲得する知識及び技能の習得状況について、評価基準を用いて形成的評価をするとともに、それらを概念として理解したり、機能を習得したりしているかについて評価する。 | コミュニケーションを行う目的・場面・状況等に応じて、案れ親しんだ語句や表現を使って、話される内容を理解したり自分の考えや気持ちを表現したりしているかを評価する。 | 自分の考えや気持ちを伝えあうことの楽しさや大切さを実感しながら粘り強く学習に取り組み、問題解決の過程を振り返って改善しようとする態度を身に付けているか、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けているかを評価する。 |
| 評 価 方 法 | <ul style="list-style-type: none"> 定期考査 授業中の小テスト | <ul style="list-style-type: none"> 定期考査 パフォーマンステスト | <ul style="list-style-type: none"> 言語活動の取り組み 授業中の小テスト 提出物 授業のふりかえり パフォーマンステスト |

※ 上に示す観点に基づいて、学習のまとめごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。

※ 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習活動

| 期 | 単元 | 内容(項目), 教材, 目標 | 主な評価規準 |
|----------|----|--|--|
| 前期 中間 | | <p>題材内容 L1 OriHime L2 Breakfast Makes Perfect</p> <p>言語材料 ・時制 ・助動詞 ・スピーチ ・プレゼンテーション</p> | <p>a: 主な言語材料を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>b: 学習した内容を基に、自己表現を行っている。</p> <p>c: 日常的话题において、学習した言語材料を活用しながら、自分の考えや意見などを自律的に伝え合おうとしている。また、課題解決に向けての協同的な学びを実践している。</p> |
| 前期 期末 | | <p>題材内容 L3 Cool Japan L4 Save Our Planet L5 Volunteer Work or What?</p> <p>言語材料 ・受動態 ・不定詞 ・動名詞 ・ライティング ・ディスカッション ・ディベート</p> | <p>a: 主な言語材料を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>b: 学習した内容を基に、自分の考えを効果的に表現している。</p> <p>c: 日常的话题において、学習した言語材料を活用しながら、自分の考えや意見などを自律的に伝え合おうとしている。また、課題解決に向けての協同的な学びを実践している。</p> |
| 後期 中間 | | <p>題材内容 L6 Another Life I Might Had L7 What Is Our Greatest Invention? L8 Discover Japan</p> <p>言語材料 ・分詞 ・比較 ・関係詞 ・スピーチ ・プレゼンテーション ・ライティング</p> | <p>a: 主な言語材料を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>b: 学習した内容を基に、根拠を示し、自分の考えを効果的に表現している。</p> <p>c: 日常的・社会的な話題において、学習した言語材料を活用しながら、自分の考えや意見などを自律的に伝え合おうとしている。また、課題解決に向けての協同的な学びを実践している。</p> |
| 後期 期末 | | <p>題材内容 L9 Urban Life or Rural Life? L10 Music Without a Pianist</p> <p>言語材料 ・仮定法 ・接続詞 ・ディスカッション ・ディベート</p> | <p>a: 主な言語材料を用いた文の形・意味・用法を理解している。また、ディスカッションを効果的に行うための技能を理解し、実際に活用している。</p> <p>b: 学習した内容を基に、自分の考えを説得力と一貫性を伴って表現している。</p> <p>c: 日常的・社会的な話題において、学習した言語材料を活用しながら、自分の考えや意見などを自律的に伝え合おうとしている。また、課題解決に向けての協同的な学びを実践している。</p> |

※ 表中の観点について a: 知識・技能, b: 思考・判断・表現, c: 主体的に取り組む態度 である。

| | | | | | | | |
|-------|---|----|-----------|-----|-----|----|----|
| 教科 | 英語 | 科目 | 論理・表現 I B | 単位数 | 1単位 | 年次 | 1年 |
| 使用教科書 | — | | | | | | |
| 副教材等 | アトラス総合英語(桐原書店) ATLAS English Grammar Explorer in 36 Lessons ATLAS English Grammar Explorer Workbook | | | | | | |

1 授業及び学習の方法等

| |
|--|
| <p>論理の構成や展開を工夫して話したり、書いたりして伝える、または伝え合うことなどができるようになるための、コミュニケーションに必要な文法知識を身につける。 また、教材を活用して効率的に学習を進めながら、既習の文法内容や英文を活用し、自分が伝えたいことを英語で表現するなど、発展的に反復して学習に取り組む。</p> |
|--|

2 学習の到達目標

| |
|---|
| <p>英語の文法や表現、言語の働きなどの理解を深めるとともに、聞くこと、読むことなど複数の技能を結び付けた統合的な言語活動を通して、「話すこと(やり取り)」、「話すこと(発表)」、「書くこと」を中心とした発信能力の育成を強化する。</p> |
|---|

3 学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に取り組む態度 |
|-----------------------|---|---|--|
| 観 点 の 趣 旨 | <p>[知識] 習得すべき知識や重要な概念等を理解している。 [技能] 既有的知識及び技能と関連付け、活用する技能を身に付けている。</p> | <p>知識及び技能を活用して、自分の考えを表現するなどのために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けている。</p> | <p>知識及び技能を獲得し、思考力、判断力、表現力等を身に付けることに対する粘り強い取り組みの中で、自らの学習を調整しようとしている。</p> |
| 評 価 方 法 | <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト ・ノート等の提出物 | <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト ・パフォーマンス課題 ・ノート等の提出物 | <ul style="list-style-type: none"> ・ノート等の提出物 ・授業中の活動への取り組み状況 ・パフォーマンス課題 ・振り返り等 |

※ 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。

※ 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習活動

| 期 | 単元 | 内容(項目), 教材, 目標 | 主な評価規準 |
|------------------|----|---|--|
| 前 期 中 間 | | 1. アトラス総合英語 UNIT3～6 2. ATLAS English Grammar Explorer in 36 Lessons 第3章～第13章 3. ATLAS English Grammar Explorer Workbook 第3章～第13章 | 1a, 2a, 3a: [知識]完了形、助動詞、態、不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 [技能]完了形、助動詞、態、不定詞などの多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えを、理由や根拠とともに詳しく話して、または書いて伝える技能を身に付けている。 1b, 2b, 3b: 学習単元について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えを、理由や根拠とともに詳しく話して、または書いて伝えている。 1c, 2c, 3c: 学習単元について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えを、理由や根拠とともに詳しく話して、または書いて伝えようとしている。 |
| | | 4. アトラス総合英語 UNIT7～10 5. ATLAS English Grammar Explorer in 36 Lessons 第14章～第24章 6. ATLAS English Grammar Explorer Workbook 第14章～第24章 | 4a, 5a, 6a: [知識]動名詞、分詞、関係詞、比較を用いた文の形・意味・用法を理解している。 [技能]動名詞、分詞、関係詞、比較などの多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えを、理由や根拠とともに詳しく話して、または書いて伝える技能を身に付けている。 4b, 5b, 6b: 学習単元について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えを、理由や根拠とともに詳しく話して、または書いて伝えている。 4c, 5c, 6c: 学習単元について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えを、理由や根拠とともに詳しく話して、または書いて伝えようとしている。 |
| 後 期 中 間 | | 7. アトラス総合英語 UNIT11～17 8. ATLAS English Grammar Explorer in 36 Lessons 第25章～第32章 9. ATLAS English Grammar Explorer Workbook 第25章～第32章 | 7a 8a, 9a: [知識]仮定法、動詞と文型、名詞・冠詞、代名詞、形容詞等を用いた文の形・意味・用法を理解している。 [技能]仮定法、動詞と文型、名詞・冠詞、代名詞、形容詞等などの多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えを整理し、理由や根拠とともに論理性に注意して詳しく話して、または書いて伝える技能を身に付けている。 7b, 8b, 9b: 学習単元について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えを整理し、理由や根拠とともに論理性に注意して詳しく話して、または書いて伝えている。 7b, 8b, 9b: 学習単元について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えを整理し、理由や根拠とともに論理性に注意して詳しく話して、または書いて伝えようとしている。 |
| | | 10. アトラス総合英語 UNIT18～24 11. ATLAS English Grammar Explorer in 36 Lessons 第33章～第36章 12. ATLAS English Grammar Explorer Workbook 第23章～第36章 | 10a 11a, 12a: [知識]接続詞、否定、注意すべき構文を用いた文の形・意味・用法を理解している。 [技能]接続詞、否定、注意すべき構文の多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えを整理し、理由や根拠とともに論理性に注意して詳しく話して、または書いて伝える技能を身に付けている。 10b, 11b, 12b: 学習単元について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えを整理し、理由や根拠とともに論理性に注意して詳しく話して、または書いて伝えている。 10b, 11b, 12b: 学習単元について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えを整理し、理由や根拠とともに論理性に注意して詳しく話して、または書いて伝えようとしている。 |
| 後 期 期 末 | | | |

※ 表中の観点について a: 知識・技能, b: 思考・判断・表現, c: 主体的に取り組む態度 である。

| | | | | | | | |
|-------|---|----|--------------|-----|-----|----|----|
| 教科 | 英語 | 科目 | 英語コミュニケーションⅡ | 単位数 | 3単位 | 年次 | 2年 |
| 使用教科書 | New Rays English Communication II(いっぴずな書店) | | | | | | |
| 副教材等 | SWITCH4 (文英堂) Listening Essentials 2.5 五訂版 (啓隆社) システム英単語 5訂版 (駿台文庫) CNN Workbook Intensive Course 2024(朝日出版) | | | | | | |

1 授業及び学習の方法等

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」「書くこと」「聞くこと」「話すこと」の4技能の修得を目標とする。 ・New Raysに関しては本文を事前に読んでくることを課す。予習の段階で語彙、構文も確認しながら、精読をしていく。また内容について、簡単に説明ができるくらいまで繰り返し読んでいくこととする。 ・SWITCH4に関しては、速読の力を養うことも目指す。 ・音読活動を通して、英語のリズムやイントネーションの習得をめざす。 ・英文を要約したり、内容について質疑応答することで、英文についての理解を深める。 ・読んだ英文のトピックをもとに、自分の意見をまとめたり、クラスメイトと意見交換をする。 ・Listening Essentialsではテスト形式で、CNNではauthenticな教材を用いて、dictation等も行いながらリスニング力の強化をはかる。 |
|---|

2 学習の到達目標

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ある程度まとまりのある英文を、複雑な内容や重要な構文のところは時間をかけて読み、全体の要旨を理解し、重要な点をもれなく理解することができる。 ・身近な話題に関して説明をしたり、自分の意見をつなぎの語やフレーズを活用して、まとまりのある段落を書くことができる。 ・なじみのあるトピックについて、ゆっくりはっきり話されれば、その要点を理解することができる。 ・なじみのあるトピックについて、準備時間を与えられれば、自分の意見を加えた発表をすることができる。 ・4技能全体のレベルを上げるために、語彙力をつける。 |
|--|

3 学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に取り組む態度 |
|-----------------------|---|--|---|
| 観 点 の 趣 旨 | 英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。ある程度のレベルの英文を何となくではなく、構文や重要な文法事項を理解しながら読むことができる。英検準1級レベルのリスニング力をつける。 | 教科書や教材で扱う英文に加え、初見の英文に関しても内容を理解し、自己の意見を英語で表現できる。クラスメイトとの意見交換などを通して、内容についての知識を深めようとしている。 | Verbal communicationに関心をもち、積極的に言語活動を行っている。学校で与えられた課題を自主的に計画を立て、実力養成に繋げている。 |
| 評 価 方 法 | <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト | <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト | <ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・提出物 ・振り返りシート |

※ 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。

※ 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習活動

| 期 | 単元 | 内容(項目), 教材, 目標 | 主な評価規準 |
|----------|---------------|---|---|
| 前期 中間 | Chapters 3~4 | <p>3. 身近な食材である塩を通して、生物の進化や人体の不思議、摂りすぎによる病気などについて考えることで生命を尊ぶ態度を養う。</p> <p>4. 27歳の若さで亡くなったHollyさんの最後のメッセージを読むことで、私たちの日常の出来事がいかに価値ある、かけがえのないものか実感する。</p> | <p>a:分詞構文や関係詞、不定詞の働きを理解している。不定詞の3つの用法を判別できる。英文の中のthatの働きを的確に理解できる。</p> <p>b:人類の進化と塩の関係について理解し、塩と健康について考える。命の大切さを改めて考え、今できることを見つめ直す。</p> <p>c:塩に関する知識から発展して健康に良い食べ物について意見を交換させる。 ・Hollyさんが最後のメッセージで何を訴えたかったのかを理解させる。 ・病気を抱えている人々に何ができるのか、意見を交換させる。 ・天国にいるHollyさんへ手紙を書くとしたらどのような内容にするか考え、クラスメイトと互いの内容について話し合う。</p> |
| 前期 期末 | Chapters 5~7 | <p>5. コスタリカのエコツーリズムの取り組みや課題を読むことで、人間が地球環境を守りながら、どのように暮らし、生きていくのかについて考える。</p> <p>6. Factfulnessの本を紹介した文章を読み、どのようなデータを使って、どのように相手に伝えることが物事や世界情勢の正しい理解につながるかについて考える。</p> <p>7. 社会心理学が私たちの社会的交流を促進するものであることを知ることで、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養う。</p> | <p>a:無生物主語、助動詞の特徴やきまりを理解している。asの用法、意味を判別できる。</p> <p>b:・エコツーリズムとは何か、コスタリカでどういった活動が行われているかを理解する。 ・観光客として、自然豊かな地を訪れる際に何に気を付けるべきかについて意見を交換させる。 ・「分断本能」、「ネガティブ本能」、「直線本能」について説明した文を読み、理解する。 ・私たちの日常の行動の例を読み、「返報性の原理」「社会的促進」「認知的不協和」などの社会心理学の定義を理解する。</p> <p>c:・エコツーリズムに関するディベート・イン・ディスカッションを行う。 ・なぜ事実が重要なのかについて、意見を述べる。 ・社会心理学の定義に当てはまる自分自身の経験について、意見を述べる。</p> |
| | Chapters 8~10 | <p>8. 滅びつつあったアイヌ語を守るために奮闘したアイヌの少女知里幸恵さんを通して、アイヌの伝統・文化・言語の豊かさを知る。</p> <p>9.1960年代に水没の危機にあったアブ・シンベル宮殿を救済するための国際的な取り組みによって、世界の貴重な文化遺産を後世に残すための「世界遺産」が創設されたことを知り、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う。</p> | <p>a:仮定法や動名詞の働きときまりを理解している。</p> <p>b:・知里幸恵さんの取り組みを通して、文化や言語が消滅することとはどういうことかを考える。 ・ペアまたはグループで知里幸恵さんの物語を英訳し、朗読する。 ・アブ・シンベル神殿を残すために国や人々が行ったことを理解する。 ・日本の世界遺産ベスト5を選び、その理由を発表する。</p> |

| | | | |
|------|--------------|--|--|
| 後期中間 | 0 | <p>10.ミチオ・カク氏のスピーチを通して、なぜ彼が物理学に興味をもったのか、物理学にはどのような可能性があるかなどを知る。</p> | <ul style="list-style-type: none"> •筆者がなぜ物理学に興味を持ったのか、物理学にどのような課題が残されているのかを考える。 c:・北海道への修学旅行とC IIで学んだアイヌの知識をまとめて自分の言葉で発表できる。 •お金がかかったとしても文化遺産を残すべきか、意見を交換する。 •物理学が私たちの生活にどうかかわっているのかについて、自分の考えを述べるができる。 |
| 後期末 | Chapters 1~2 | <p>1. アマンダ・ゴーマンさんがなぜ詩を書くのか、詩を通して何を表現しているのかを、彼女の語るスピーチから読み取る。</p> <p>2. 「よい人生とはどういう人生か」という普遍的テーマについての研究結果を紹介するスピーチから、どういう研究をして何がわかったかを読み取る。</p> | <p>a:準動詞、時制、関係詞、比較を理解している。thatの働きを理解し、文の中でどの働きをしているかを正確に見抜くことができる。</p> <p>b:・詩がこれまでにどのような影響を与えてきたのか、これからどのようなものを書きたいかという筆者のメッセージを読むことで、表現することの大切さを考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> •比喩的な表現が持つ意味を理解させる。 •これまでに出会った大切な言葉について、パラグラフで表現する。 <p>c:よりよい人生を送るには他者とのよい関係が重要であるという研究結果を知ることにより、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養う。</p> <ul style="list-style-type: none"> •本文の内容をまとめ、相手に伝える。 |

※ 表中の観点について a:知識・技能, b:思考・判断・表現, c:主体的に取り組む態度 である。

| | | | | | | | |
|-------|---|----|--------|-----|-----|----|----|
| 教科 | 英語 | 科目 | 論理・表現Ⅱ | 単位数 | 2単位 | 年次 | 2年 |
| 使用教科書 | MAINSTREAM English Logic and Expression II (増進堂・受験研究社) | | | | | | |
| 副教材等 | 新・英語の構文150(美誠社)、新・英語の構文150学習ノート vol.1,2,3(美誠社) Change the World (Standard) (いっぴな書店) 大学入試システム英作文(桐原書店) | | | | | | |

1 授業及び学習の方法等

| |
|---|
| <p>週2時間の授業のうち、1時間は副教材等を活用し、構文理解や読解力の向上、及びライティング力の強化等を行う。</p> <p>もう1時間は、チーム・ティーチングとし、ALT (Assistant Language Teacher) と協力して、授業を行う。チーム・ティーチングの授業では、読んだ英文に関連するテーマで、ディスカッションやプレゼンテーション、ディベート等の表現活動を中心に行う。</p> |
|---|

2 学習の到達目標

| |
|---|
| <p>「論理・表現Ⅰ」の学習内容を踏まえ、「読むこと」「聞くこと」など複数の領域を結び付けた統合的な言語活動を通して、「話すこと(やり取り)」、「話すこと(発表)」、「書くこと」を中心とした発信能力の育成を強化する。和文英訳のトレーニングを行い、英作文の書き方の基礎を習得しながら、特に、スピーチ、プレゼンテーション、ディスカッション、ディベート、エッセイライティング(複数の段落から成る文章を書くこと)を通して、論理の構成や展開を工夫して話したり書いたりして詳しく伝える、または伝え合うことができる力を養う。</p> |
|---|

3 学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に取り組む態度 |
|-----------------------|---|--|---|
| 観 点 の 趣 旨 | <p>[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項及びその働きや役割を理解している。</p> <p>[技能] 目的や場面、状況に応じて、自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して、詳しく話したり書いたりして伝え合うことができる技能を身に付けている。</p> | <p>目的や場面、状況に応じて、自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して、詳しく話したり書いたりして伝え合っている。</p> | <p>英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手・読み手など他者に配慮しながら、主体的・自律的に表現しようとしている。</p> |
| 評 価 方 法 | <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト ・ノート等の提出物 ・スピーチ、プレゼンテーション等のパフォーマンステスト | <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト ・ノート等の提出物 ・スピーチ、プレゼンテーション等のパフォーマンステスト | <ul style="list-style-type: none"> ・ノート等の提出物 ・スピーチ、プレゼンテーション等のパフォーマンステスト ・授業中の活動への取り組み状況 ・振り返り等 |

※ 上に示す観点に基づいて、学習のまとめごとにより評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。

※ 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習活動

| 期 | 単元 | 内容(項目), 教材, 目標 | 主な評価規準 |
|------------------|----|--|---|
| 前 期 中 間 | | 1. MAINSTREAM Lesson3,5,6 2. 新・英語の構文150 第1章～第3章 3. Change the World UNIT1,2,3,4,5 4. 大学入試システム英作文1,2,3,4 | <p>1a, 2a:[知識]仮定法、受け身、比較を用いた文の形・意味・用法を理解している。 [技能]仮定法、受け身、比較などの多様な語句や文を用いて、情報や質問事項を整理し、理由や根拠とともに詳しく話して伝え合うやり取りを続ける技能を身に付けている。</p> <p>1b, 2b:学習単元について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や質問事項を整理し、理由や根拠とともに詳しく話して伝え合うやり取りを続けている。</p> <p>1c, 2c:学習単元について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や質問事項を整理し、理由や根拠とともに詳しく話して伝え合うやり取りを続けようとしている。</p> <p>3a:[知識]仮定法、受け身、比較を用いた文の形・意味・用法を理解している。 [技能]仮定法、受け身、比較などの理解を基に、英文の内容を詳細に読み取る技能を身に付けている。</p> <p>3b:情報や自分の考えをまとめるために、英文内容から、必要な情報を読み取り、書き手の意図、概要や要点、詳細を整理して把握している。</p> <p>3c:情報や自分の考えをまとめるため、英文内容から、必要な情報を読み取り、書き手の意図、概要や要点、詳細を整理して把握しようとしている。</p> <p>4a:[知識]仮定法、受け身、比較を用いた文の形・意味・用法を理解している。 [技能]仮定法、受け身、比較などの多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えを理由や根拠とともに詳しく書いて伝える技能を身に付けている。</p> <p>4b:学習単元について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や質問事項を整理し、理由や根拠とともに英文を詳しく書いて伝えている。</p> <p>4c:学習単元について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や質問事項を整理し、理由や根拠とともに英文を詳しく書いて伝えようとしている。</p> |
| | | 5. MAINSTREAM Lesson7,9 6. 新・英語の構文150 第4章～第6章 7. Change the World UNIT6,7,8,9,10 8. 大学入試システム英作文5,6,7,8 | <p>5a, 6a:[知識]動名詞、分詞、分詞構文歩を用いた文の形・意味・用法を理解している。 [技能]動名詞、分詞、分詞構文などの多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えを整理し、理由や根拠とともに詳しく話して伝え合うやり取りを続ける技能を身に付けている。</p> <p>5b, 6b:学習単元について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えを整理し、理由や根拠とともに詳しく話して伝え合うやり取りを続けている。</p> <p>5c, 6c:学習単元について、聞いたり読んだりしたことを</p> |

前期期末

活用しながら、情報や自分の考えを整理し、理由や根拠とともに詳しく話して伝え合うやりとりを続けようとしている。

7a: [知識] 動名詞、分詞、分詞構文を用いた文の形・意味・用法を理解している。
[技能] 動名詞、分詞、分詞構文などの理解を基に、英文内容を詳細に読み取る技能を身に付けている。

7b: 情報や自分の考えをまとめるために、英文内容から、必要な情報を読み取り、書き手の意図、概要や要点、詳細を整理して把握している。

7c: 情報や自分の考えをまとめるために、英文内容から、必要な情報を読み取り、書き手の意図、概要や要点、詳細を整理して把握しようとしている。

8a: [知識] 動名詞、分詞、分詞構文を用いた文の形・意味・用法を理解している。
[技能] 動名詞、分詞、分詞構文などの多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えを整理し、理由や根拠とともに論理性に注意して詳しく書いて伝える技能を身に付けている。

8b: 自分の意見を伝えるために、学習単位について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えを整理し、理由や根拠とともに論理性に注意して詳しく書いて伝えている。

8c: 自分の意見を伝えるために、学習単位について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えを整理し、理由や根拠とともに論理性に注意して詳しく書いて伝えようとしている。

- 9. MAINSTREAM Lesson8, 12
- 10. 新・英語の構文150 第7章～第11章
- 11. Change the World UNIT11,12,13,14,15
- 12. 大学入試システム英作文9,10,11,12

9a, 10a: [知識] 不定詞、名詞構文を用いた文の形・意味・用法を理解している。
[技能] 不定詞、名詞構文などの多様な語句や文を用いて、情報や自分の考え・意見を整理し、詳しく話して伝え合うやり取りを続ける技能を身に付けている。

9b, 10b: 学習単位について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考え・意見を整理し、詳しく話して伝え合うやり取りを続けている。

9c, 10c: 学習単位について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考え・意見を整理し、詳しく話して伝え合うやり取りを続けようとしている。

11a: [知識] 不定詞、名詞構文を用いた文の形・意味・用法を理解している。
[技能] 不定詞、名詞構文などの理解を基に、英文を詳細に読み取る技能を身に付けている。

11b: 情報や自分の考えをまとめるために、英文内容から、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意

| | | |
|--|--|---|
| | | <p>図、概要や要点、詳細を整理して把握している。</p> <p>11c: 情報や自分の考えをまとめるために、英文内容から、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図、概要や要点、詳細を整理して把握しようとしている。</p> <p>12a: [知識]不定詞、名詞構文を用いた文の形・意味・用法を理解している。 [技能]不定詞、名詞構文などの多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えを整理し、理由や根拠、実例とともに論理性に注意して詳しく書いて伝える技能を身に付けている。</p> <p>12b: 学習単元について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えを整理し、理由や根拠、実例とともに論理性に注意して、英文を詳しく書いて伝えている。</p> <p>12c: 学習単元について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えを整理し、理由や根拠、実例とともに論理性に注意して、英文を詳しく書いて伝えようとしている。</p> |
| | <p>13. MAINSTREAM Lesson10, 11</p> <p>14. 新・英語の構文150 第12章～第15章</p> <p>15. Change the World UNIT16,17,18,19,20</p> <p>16. 大学入試システム英作文13,14,15</p> | <p>13a, 14a: [知識]助動詞、関係代名詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 [技能]助動詞、関係代名詞などの多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えを整理し、詳しく話して伝え合うやり取りを続ける技能を身に付けている。</p> <p>13b, 14b: 学習単元について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えを整理し、詳しく話して伝え合うやり取りを続けている。</p> <p>13c, 14c: 学習単元について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えを整理し、詳しく話して伝え合うやり取りを続けようとしている。</p> |

後
期
期
末

15a: [知識]助動詞、関係代名詞 を用いた文の形・意味・用法を理解している。
[技能]助動詞、関係代名詞などの理解を基に、英文を詳細に読み取る技能を身に付けている。

15b: 情報や自分の考えをまとめるために、英文内容から、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図、概要や要点、詳細を整理して把握している。

15c: 情報や自分の考えをまとめるために、英文内容から、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図、概要や要点、詳細を整理して把握しようとしている。

16a: [知識]助動詞、関係代名詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。
[技能]助動詞、関係代名詞などの多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えを整理し、理由や根拠とともに論理性に注意して詳しく書いて伝える技能を身に付けている。

16b: 学習単元について、聞いたり読んだりしたことを活用して、情報や自分の考えを整理し、理由や根拠とともに論理性に注意して詳しく書いて伝えている。

16c: 学習単元について、聞いたり読んだりしたことを活用して、情報や自分の考えを整理し、理由や根拠とともに論理性に注意して詳しく書いて伝えようとしている。

※ 表中の観点について a:知識・技能, b:思考・判断・表現, c:主体的に取り組む態度 である。

| | | | | | | | |
|-------|---|----|--------------|-----|-----|----|----|
| 教科 | 英語 | 科目 | 英語コミュニケーションⅢ | 単位数 | 2単位 | 年次 | 3年 |
| 使用教科書 | CROWN English Communication Ⅲ (三省堂) | | | | | | |
| 副教材等 | Clues to Reading 英文和訳の徹底演習 (数研出版) 共通テスト英語模擬演習 40min. 2025 (エミル出版) 共通テストリスニング実践 30min. 2025 (エミル出版) ユメタン2 (アルク) | | | | | | |

1 授業及び学習の方法等

| |
|--|
| <p>・英語コミュニケーションⅢの授業は、「聞くこと」、「話すこと(やり取り、発表)」、「読むこと」、「書くこと」の4技能5領域の力をつける授業です。聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考えなどについて、話したり書いたりする言語活動を多く行います。</p> <p>・日常的、社会的話題を取り扱いながら、より学術的な内容や様々な事象を多角的に捉える内容を扱います。</p> <p>・英語の語彙や文法については、実際のコミュニケーションでどのように使われているか、ということ意識して学習しましょう。</p> |
|--|

2 学習の到達目標

| |
|---|
| <p>以下の5領域において言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。</p> <p>【聞くこと】 日常的、社会的な話題について、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図、概要や要点を目的に応じて把握することができる。</p> <p>【読むこと】 日常的・社会的な話題について、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図、概要や要点を目的に応じて把握することができる。</p> <p>【話すこと(やり取り)】 日常的・社会的な話題について、多様な語句や文を用いて情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝え合うやり取りを続けることができる。</p> <p>【話すこと(発表)】 日常的・社会的な話題について、多様な語句や文を用いて情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができる。</p> <p>【書くこと】 日常的・社会的な話題について、多様な語句や文を用いて、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができる。</p> |
|---|

3 学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に取り組む態度 |
|-----------------------|--|--|--|
| 観 点 の 趣 旨 | 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、その内容を捉える技能を身に付けている。 | コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。 | 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 |
| 評 価 方 法 | ・定期考査 ・単元テスト | ・定期考査 ・パフォーマンス課題 | ・単元テスト ・提出物 ・リフレクション等 |

※ 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。

※ 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習活動

| 期 | 単元 | 内容(項目), 教材, 目標 | 主な評価規準 |
|----------|------------------|---|--|
| 前期 中間 | L 3 5 | 1.L3 “Fake News Is Everywhere: Beware!” ・情報・社会 フェイクニュースの危険性と対処方法 ・相手の意見を確かめる表現 | a: 情報や科学技術、心理に関する語句などの意味や働きを理解し、またその内容を捉える技能を身に付けている b: 情報や科学技術、心理に関する英語で書かれた説明文を読み、概要を捉えている c: 情報や科学技術、心理に関する英語で書かれた説明文を読み、概要を捉えようとしている |
| | | 2.L4 “Beyond What Nature Intends” ・科学技術・生き方 最先端義足の開発 ・理由を尋ねる表現や、事実を説明する表現 3.L5 “How to Beat Procrastination” ・心理・行動 「先延ばし癖」の克服方法 ・相手を説得するための表現や、反論する表現 ユメタン2で英単語を随時復習 | |
| 前期 期末 | L 6 1 0 | 4.L6 “Today’s Treasure, Tomorrow’s Trash” ・環境・消費社会 家電・電子ゴミ問題、企業戦略 ・相手の考えや意図を尋ねる表現 | a: 文章を読み取るために必要となる文法事項や語法・表現を理解している b: 雑誌記事や論説文、インタビュー記事などを読み、文章の展開や書き手の意図を把握している c: 雑誌記事や論説文、インタビュー記事などを読み、文章の展開や書き手の意図を把握しようとしている |
| | | 5. L7 “Only a Camera Lens between Us” ・平和・国際貢献 武装解除に携わる瀬谷ルミ子氏の活動 ・自分の考えを説明する表現 6.L8 “Super Clone Cultural Properties” ・芸術・文化遺産 スーパークローン文化財や美術品の補修と複製 ・印象や評価を伝える表現 7.L9 “Culture in the Animal Kingdom” ・動物・文化 動物の文化や文化の考え方 ・自分の理解を相手に確かめる表現 8.L10 “Does Money Make You Mean?” ・経済・社会心理 裕福さと思いやりの関係、経済的不平等への対処 ユメタン2で英単語を随時復習 | |

| | | |
|----------|---|--|
| 後期 中間 | Clues to Reading 英文和訳の徹底演習 共通テスト英語模擬演習40min. 2025 共通テストリスニング実践 30min. 2025 (共通テスト対策・二次試験長文英作演習 等) | a:多様な話題について書かれた文章を読み、概要を捉える技能を身に付けている。 b:多様な話題について書かれた文章を読み、概要を捉えている。 c:多様な話題について書かれた文章を読み、概要を捉えようとしている。 |
| 後期 期末 | Clues to Reading 英文和訳の徹底演習 共通テスト英語模擬演習40min. 2025 共通テストリスニング実践 30min. 2025 (共通テスト対策・二次試験長文英作演習 等) | a:既習文法事項等の意味及び働きを基に、英文の内容を読み取る技能を身に付けている。 b:多様な分野の文章を読み、概要を捉えている。 c:多様な分野について書かれた文章を読み、概要を捉えようとしている。 |

※ 表中の観点について a:知識・技能, b:思考・判断・表現, c:主体的に取り組む態度 である。

| | | | | | | | |
|-------|--|----|----------|-----|-----|----|----|
| 教科 | 英語 | 科目 | 英語演習(選択) | 単位数 | 2単位 | 年次 | 3年 |
| 使用教科書 | | | | | | | |
| 副教材等 | Cutting Edge Black (エミル出版) 英作文問題演習【和文英訳編】(桐原書店) | | | | | | |

1 授業及び学習の方法等

| |
|--|
| <p>2種類のテキストを用いて、リーディングやライティングの力を養うことを目標とする。どちらのテキストにおいても、予習してくることを前提とし、それをもとに授業内で演習を行う。また、授業内で扱うことのできない問題やその他の教材は自宅で取り組む課題とする。</p> |
|--|

2 学習の到達目標

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・英語学習の基盤をなす語彙力を向上させる。 ・ある程度の長さのまとまった英文を読み、トピックや段落の大意をつかむことができるようになる。 ・英作文の基本的な書き方を身につける。 ・自分の言いたいことを的確に表現できるようになる。 |
|---|

3 学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に取り組む態度 |
|-----------------------|--|---|---|
| 観 点 の 趣 旨 | <ul style="list-style-type: none"> ・長文読解に必要な語彙力や文法力を身につけている。 ・英文全体の展開を把握することができる。 ・和文英訳の書き方を理解している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・長文の内容に関して、自分の意見を正確な英語で表現することができる。 ・既知の語彙や文法を活用して、和文英訳をすることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に言語活動に参加している。 ・課題に前向きに取り組んでいる。 |
| 評 価 方 法 | <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト | <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・課題 ・発表 | <ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・発表 ・課題 |

※ 上に示す観点に基づいて、学習のまとめごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。

※ 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習活動

| 期 | 単元 | 内容(項目), 教材, 目標 | 主な評価規準 |
|----------|----|--|---|
| 前期 中間 | | Cutting Edge Black Chpaters 1-3 英作文問題演習 第1-2限 | a: 語彙や文法を正しく理解した上で, 長文の内容やその展開についても理解できている。 b: 正しい英語を用いて, 和文英訳ができる。 c: 日々の課題に積極的に取り組んでいる。 |
| 前期 期末 | | Cutting Edge Black Chpaters 4-8 英作文問題演習 第3-6限 | a: 語彙や文法を正しく理解した上で, 長文の内容やその展開についても理解できている。 b: ディスカッションやライティング課題において, 正しい英語を用いて, 表現できる。 c: 日々の課題に積極的に取り組んでいる。 |
| 後期 中間 | | Cutting Edge Black Chpaters 9-12 英作文問題演習 第7-10限 | a: 語彙や文法を正しく理解した上で, 長文の内容やその展開についても理解できている。 b: 正しい英語を用いて, 和文英訳ができる。 c: 日々の課題に積極的に取り組んでいる。 |
| 後期 期末 | | Cutting Edge Black Chpaters 13-14 英作文問題演習 第11-12限 | a: 語彙や文法を正しく理解した上で, 長文の内容やその展開についても理解できている。 b: 正しい英語を用いて, 自分の意見や考えをまとめることができる。 c: 日々の課題に積極的に取り組んでいる。 |

※ 表中の観点について a: 知識・技能, b: 思考・判断・表現, c: 主体的に取り組む態度 である。

| | | | | | | | |
|-------|--|----|------|-----|-----|----|----|
| 教科 | 英語 | 科目 | 時事英語 | 単位数 | 1単位 | 年次 | 3年 |
| 使用教科書 | なし | | | | | | |
| 副教材等 | CNN Comprehensive Trainer 2024(朝日出版社) 2度聴き精聴トレーニング 改訂版(旺文社) | | | | | | |

1 授業及び学習の方法等

| |
|---|
| <p>授業の展開は以下の通り。 2度聴きトレーニング演習(1度目は過去問演習、2度目はディクテーション)→CNN演習(リスニング+リーディング、逐語訳、ライティング、スピーキングの活動を組み合わせて)</p> <p>授業のための予習は特に必要としないが、授業後の復習の時間を設けること。具体的にはディクテーションやスクリプトあり・なしでのシャドーイング、オーバーラッピング練習などが挙げられる。また、ライティングの課題を課す。</p> |
|---|

2 学習の到達目標

| |
|---|
| <p>【知識・技能】 CNNニュースで実際に放送された「生きた」英語を聞き、音の速度に慣れ、音の正確な聴取と内容把握の力を向上させる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ニュースを聞き、理解した内容を基に、自分の考えや思いを文章化、または口頭で伝える力をつける。</p> <p>【主体的に取り組む態度】</p> |
|---|

3 学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に取り組む態度 |
|-----------------------|--|--|---|
| 観 点 の 趣 旨 | <ul style="list-style-type: none"> ある程度まとまった英文を聞き、音の速度に慣れ、音を正確に聴取し、内容を理解することができる。 最新のニュースを聞くことで、時事内容の知識を深めることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ある程度まとまった英文を聞き、理解した内容を基に、自分の考えや思いを文章化、または口頭で伝えることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> リスニング力向上に向けて自分に合った方法で取り組むことができる。 日々の努力を継続し、英語力の向上に努めている。 |
| 評 価 方 法 | <ul style="list-style-type: none"> 定期考査 単元テスト | <ul style="list-style-type: none"> 定期考査 パフォーマンス課題 | <ul style="list-style-type: none"> 言語活動の取り組み 単元テスト パフォーマンス課題 提出物 |

※ 上に示す観点に基づいて、学習のまとめごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。

※ 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習活動

| 期 | 単元 | 内容(項目), 教材, 目標 | 主な評価規準 |
|----------|----|--|--|
| 前期 中間 | | 【2度聴き】1-5 【CNN】News1-2 | <p>a:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ある程度まとまった英文を聞き、音の速度に慣れ、音を正確に聴取し、正確な情報をくみ取ることができる。 ・最新のニュースを聞くことで、時事内容の知識を深めることができる。 <p>b:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ある程度まとまった英文を聞き、理解した内容を基に、自分の考えや思いを文章化、または口頭で伝えることができる。 ・オーバーラッピングやシャドーイングなどを活用してナチュラルスピードの英語を理解し、適切に対処しようとしている。 <p>c:</p> <p>日々の努力を継続し、英語力の向上に努めている。</p> |
| | | 【2度聴き】6-14 【CNN】News3-6 | |
| 前期 期末 | | 【2度聴き】15-23 【CNN】News7-10 | |
| 後期 中間 | | 共通テスト総合演習 【2度聴き】24-27 【CNN】News11-12 | |
| 後期 期末 | | | |

※ 表中の観点について a:知識・技能, b:思考・判断・表現, c:主体的に取り組む態度 である。

| | | | | | | | |
|-------|--|----|--------|-----|-----|----|----|
| 教科 | 英語 | 科目 | 論理・表現Ⅲ | 単位数 | 2単位 | 年次 | 3年 |
| 使用教科書 | FACTBOOK English Logic and Expression Ⅲ (桐原出版) | | | | | | |
| 副教材等 | Reading Fusion 2 (南雲堂) ・ Clues to Reading (数研出版) Write to the Point (数研出版) ・ Listening Essentials 3 (啓隆社) | | | | | | |

1 授業及び学習の方法等

| |
|--|
| <p>主に、国公立大学二次試験で対応できるリーディングやライティングの力を養うことを目標とする。 Clues to ReadingとWrite to the Pointについては、予習してくることを前提とし、それをもとに授業内で演習を行う。FACTBOOKの内容を用いて、発表やプレゼンなどの発信活動も行う。 また、授業内で扱うことのできない問題やその他の教材は自宅で取り組む課題とする。</p> |
|--|

2 学習の到達目標

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・英語学習の基盤をなす語彙力を向上させる。 ・ある程度の長さのまとまった英文を読み、トピックや段落の大意をつかむことができるようになる。 ・英作文の基本的な書き方を身につける。 ・自分の言いたいことを的確に表現できるようになる。 |
|---|

3 学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に取り組む態度 |
|-----------------------|---|--|---|
| 観 点 の 趣 旨 | <p>【リーディング】文章を読み、段落や英文全体の大意をつかむことができる。</p> <p>【ライティング】英作文の基本的な書き方を理解し、活用することができる。</p> | <p>【リーディング】筆者の意見や様々な立場の意見に対して、自分の考えを持ち、それを英語で表現することができる。</p> <p>【ライティング】日本語にとらわれずに、豊かな語彙やパラグラフ・ライティングのスキルなどを用いて、自分の言いたいことを的確に表現することができる。</p> | <p>苦手な分野を把握し、それを克服するために自分に合った方法で取り組むことができる。また、英語力の向上のために、日々努力することができる。</p> |
| 評 価 方 法 | <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト ・予習プリント | <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト ・予習プリント | <ul style="list-style-type: none"> ・授業中の取り組み ・小テスト ・自学自習プリント |

※ 上に示す観点に基づいて、学習のまとめごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。

※ 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習活動

| 期 | 単元 | 内容(項目), 教材, 目標 | 主な評価規準 |
|----------|----|--|---|
| 前期 中間 | | FACTBOOK Units 1-3 Clues to Reading Lessons 1-3 Write to the Point Lessons 1-3 Reading Fusion Units 8-9 | a: 語彙や文法を正しく理解した上で, 長文の内容やその展開についても理解できている。 b: 正しい英語を用いて, 和文英訳ができる。 c: 日々の課題に積極的に取り組んでいる。 |
| 前期 期末 | | FACTBOOK Units 4-7 Clues to Reading Lessons 4-8 Write to the Point Lessons 4-9 Reading Fusion Units 10-12 | a: 語彙や文法を正しく理解した上で, 長文の内容やその展開についても理解できている。 b: ディスカッションやライティング課題において, 正しい英語を用いて, 表現できる。 c: 日々の課題に積極的に取り組んでいる。 |
| 後期 中間 | | FACTBOOK Units 8-10 Clues to Reading Lessons 9-13 Write to the Point Lessons 10-14 Reading Fusion Units 13-15 | a: 語彙や文法を正しく理解した上で, 長文の内容やその展開についても理解できている。 b: 正しい英語を用いて, 和文英訳ができる。 c: 日々の課題に積極的に取り組んでいる。 |
| 後期 期末 | | Clues to Reading Lessons 14-15 Write to the Point Lessons 15-18 | a: 語彙や文法を正しく理解した上で, 長文の内容やその展開についても理解できている。 b: 正しい英語を用いて, 自分の意見や考えをまとめることができる。 c: 日々の課題に積極的に取り組んでいる。 |

※ 表中の観点について a: 知識・技能, b: 思考・判断・表現, c: 主体的に取り組む態度 である。